作品名	plug-in-pick-out -商店街の再構築-	作品番号	1/5
校名	神戸芸術工科大学		
氏名	割石 光絵		

plug-in-pick-out

- 商店街の再構築 -

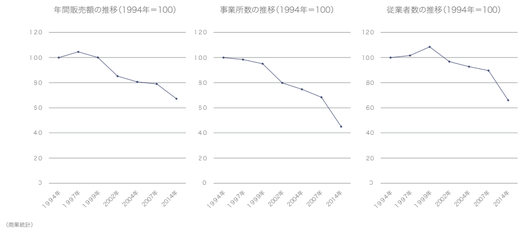
商店街の現状・問題点・提案・対象敷地

作品名	plug-in-pick-out -商店街の再構築-	作品番号	2/5
校名	神戸芸術工科大学		
氏名	割石 光絵		

社会背景 / 経済的効率のインフレ

従来、商店街は地域の住民や働き手にとって身近に商品やサービスを提供してくれる場であった。しかし、道路網のインフラ整備が進むことで郊外の大規模小売店舗へのアクセスが良くなったり、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどのチェーンストアが普及したことで、より経済効率の高い商業が主流になったことを要員とし、かつてほどの賑わいや存在意義を見出せずにいる。

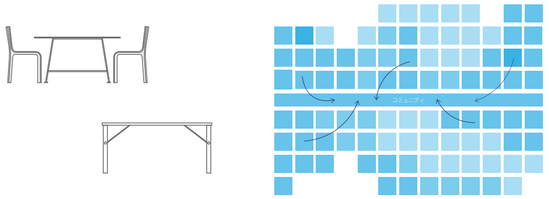
問題 / 商店街の衰退



大型店やチェーンストアの攻勢により、商店街は衰退の一途をたどる。衰退が深刻な社会問題となって、対策を講じるようになった。

しかし、その施策は「専門家の派遣」「ハード環境の整備」「販促・集客イベント」に偏り、未だに一時的な効果にとどまっている。

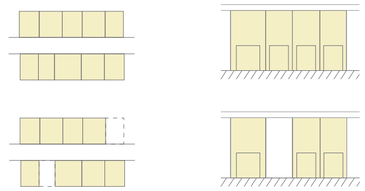
問題提起 / 商店街の在り方



一般的には、集客イベント等で屋台や仮設的なものが利用されているが、持続的に効果を及ぼす提案としては、仮設的なものだけでは厳しい。

商業地としては時代に取り残された商店街だが、商店街は商品やサービスを提供してく場であるとともに「まち」の歴史や文化を継承するコミュニティの核となる場でもあった。経済的に地域を回す場から地域のコミュニティを回す場に位置付け、大型店やチェーンストアと共存する、まちの拠点として商店街を捉え直す。

提案 / コミュニティの核としての再構築



隙間なく設計された商店街に対しては、コミュニティーを築く余白となる空間を提示するべきだと考えた。

商店街を一律的に改修するのではなく現在使われていない空き店舗を部分的に設計することで現在のコミュニティを継続、展開させる商店街の基盤を提案する。

そして、屋台や仮設型の提案に加え、それとはまた違った、商店街本来の姿を探ることにもなるような建築的提案を目指す。

神戸元町商店街

神戸元町商店街の変遷/形状変化

明治

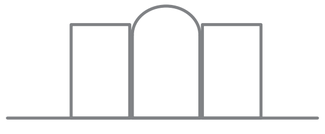
切妻屋根の形状をしている商店が、通りに面して立ち並ぶ。

大正

終戦後、航空資材を用いた片流れ屋根の「ジュラルミン街」が形成された。

昭和

陸屋根の建築物が増えてくる。



終戦

昭和 28 年(1953)よりアーケードが整備された。

平成

令和

明治41年頃の「繁文払い」(綴る力)

引用：神戸の良さが元町に、元町商店街：https://www.kobe-motomachi.or.jp

昭和初年の元町夜景(こうべ元町100年)

引用：神戸の良さが元町に、元町商店街：https://www.kobe-motomachi.or.jp

ジュラ街を国際大行進(同)

引用：神戸の良さが元町に、元町商店街：https://www.kobe-motomachi.or.jp

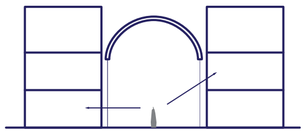
1995年2月6日 神戸駅前

引用：神戸の良さが元町に、元町商店街：https://www.kobe-motomachi.or.jp

作品名	plug-in-pick-out -商店街の再構築-	作品番号	3/5
校名	神戸芸術工科大学		
氏名	割石 光絵		

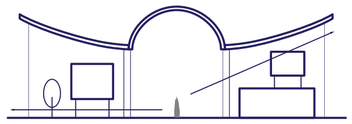
計画の主要な考え方

一般的な計画

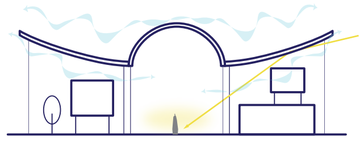


通りからは建物の2階部分までが視界に入る。
2階以上のフロアの行動は見ることができない。

今回の提案



建物をアーケードからセットバックさせることで、
2階以上のフロアの行動が見えるようになる。
そして、視線が上へと広がる。

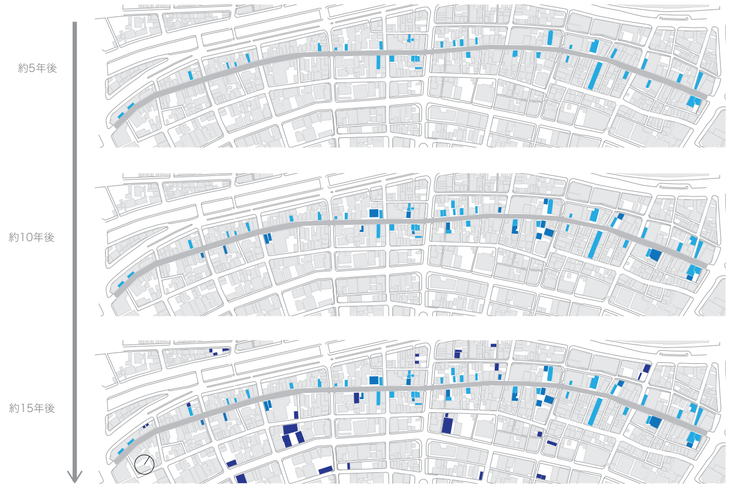


屋根がウインドキャッチャーとなり、
屋根を伝って風がアーケード内へと入りこみ、抜けていく。
太陽の光が屋根の内側を反射し、通りを明るく照らす。

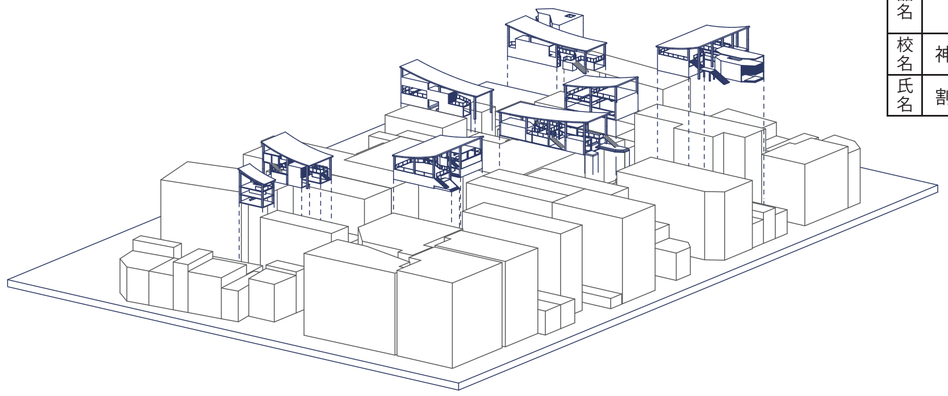
神戸元町商店街の風景－一般財団法人神戸観光局

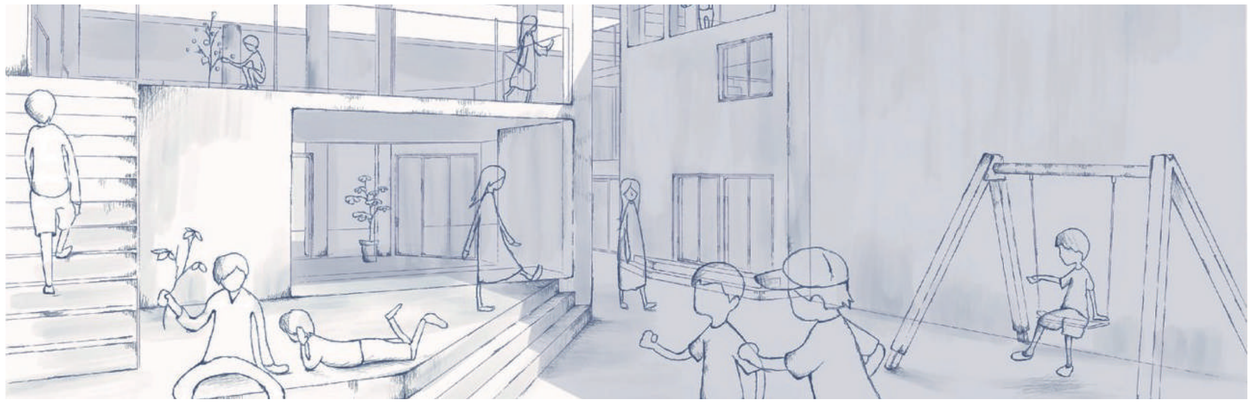
解体され、空地となっているが、活用されていない

提案する建築が次第に増えていくことで、東西のつながりだけでなく、南北の繋がりを生み出していく



提案イメージ

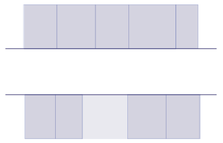




建築のパターン

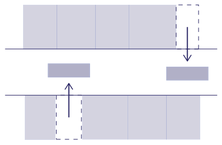
プランのパターン

「濃度を薄くするタイプ」



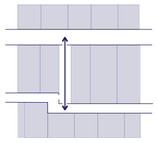
あえて濃度を薄くし自由度を高める。
隣接した空き店舗に拡張する操作も入る。

「通路中央部活用タイプ」



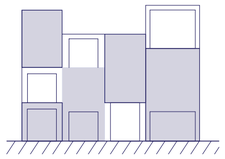
通りの中央に、店舗などの機能を並べる。

「通り抜けタイプ」



通りから裏道につながる。

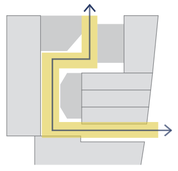
「フロアを抜くタイプ」



1階を抜く、2階を抜く、3階を抜くなどフロアに抜けを作る。

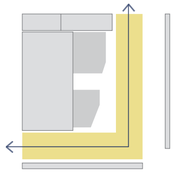
通りとプランのパターン

「折れ曲りプラン」



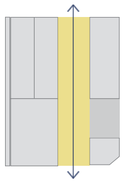
奥で何が起こっているのか、どんな場所になっているのか、興味を沸き立て新たな動線を誘発する。

「L字型プラン」



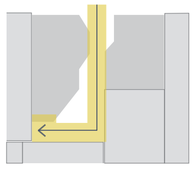
1階部分を全てピロティにする、通りに面した敷地の角地を少し地域に開放するなど、面的に広がりが生まれる。

「I字型プラン」



商店街側から見た奥の路地との関係性を生み出す。

「行き止まりプラン」



商店街側から見ると、奥に広がっているようなプランにすると、より奥が広く、奥行きがあるように見える。

設計する場所の配置図

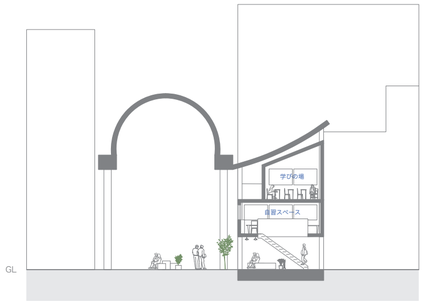
作品名	plug-in-pick-out -商店街の再構築-	作品番号	4/5
校名	神戸芸術工科大学		
氏名	割石 光絵		

1

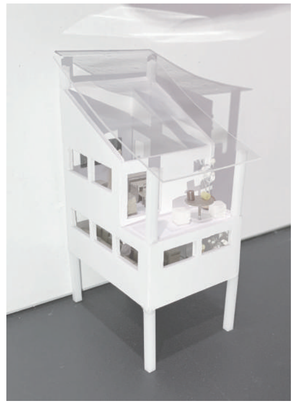
1:300　1 階平面図

2 階平面図

3 階平面図

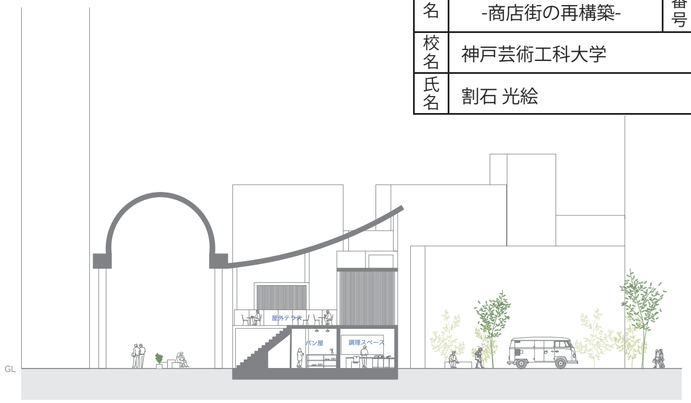


1:300　断面図

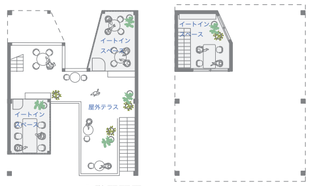


2

1:300　1 階平面図



1:300　断面図

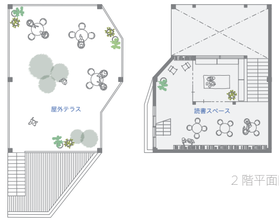


2 階平面図

3 階平面図

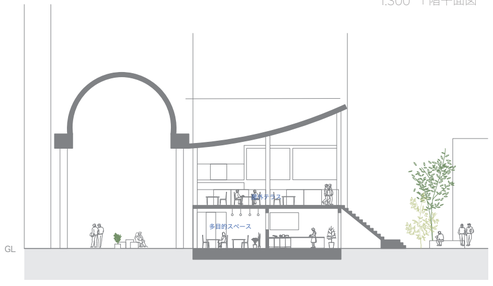
3

1:300　1 階平面図

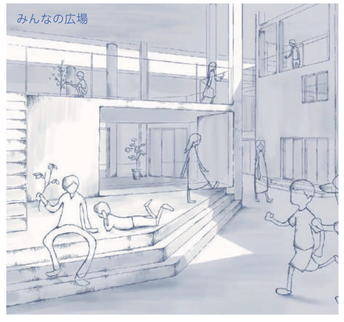


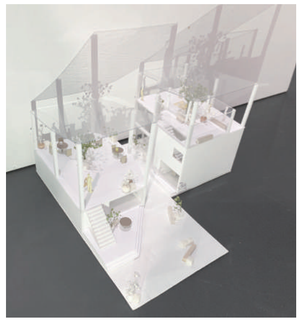
2 階平面図

3 階平面図



1:300　断面図

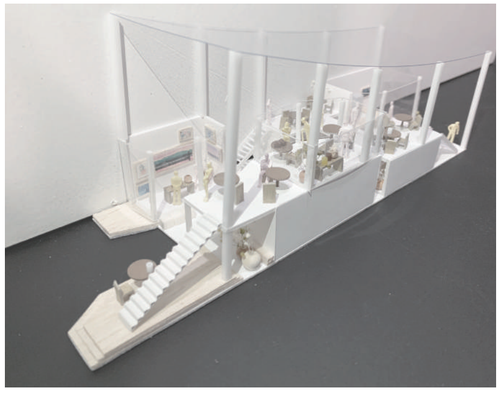


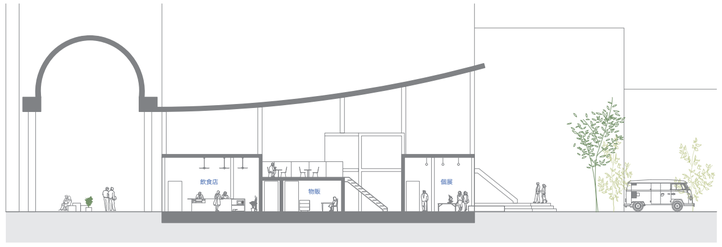


4

1:300　1 階平面図

2 階平面図

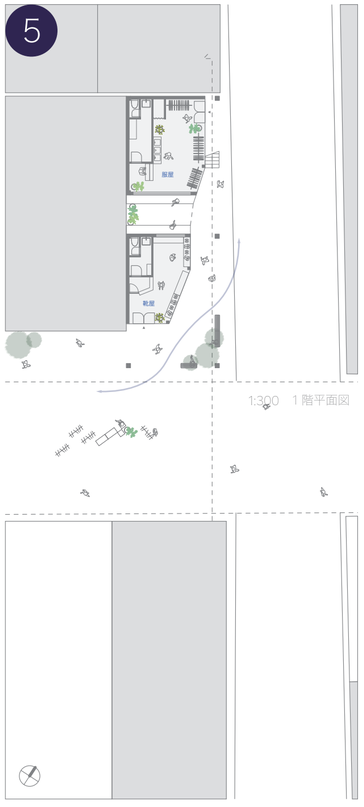




1:300　断面図

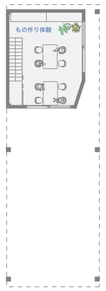
作品名	plug-in-pick-out -商店街の再構築-	作品番号	5/5
校名	神戸芸術工科大学		
氏名	割石 光絵		

5

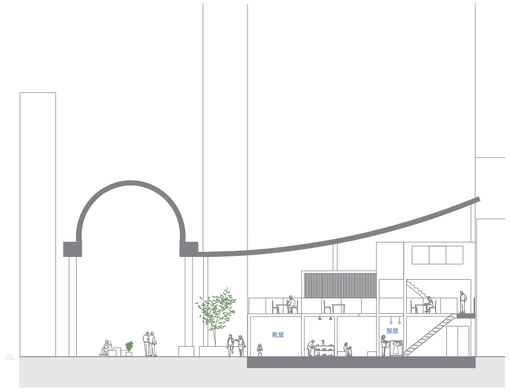


1:300　1階平面図

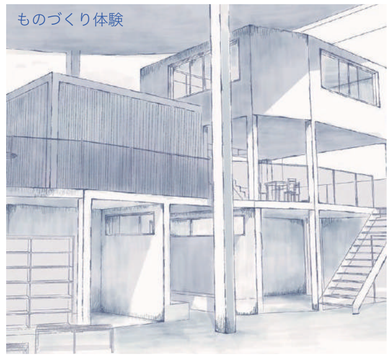
2階平面図



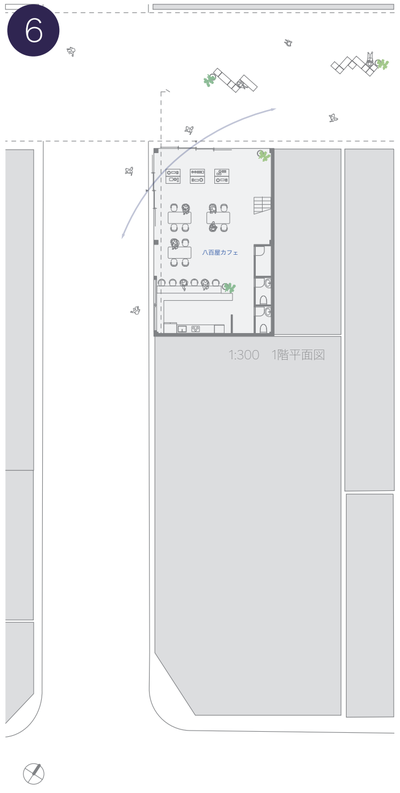
3階平面図



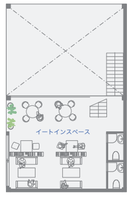
1:300　断面図



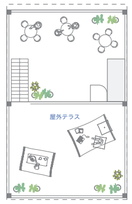
6



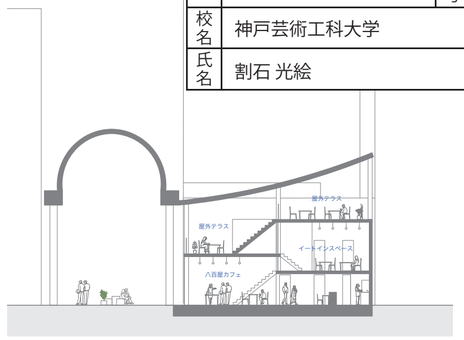
1:300　1階平面図



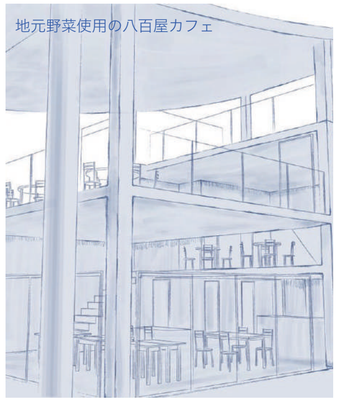
2階平面図

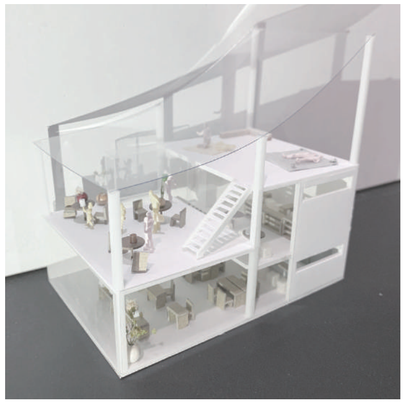


3階平面図



1:300　断面図



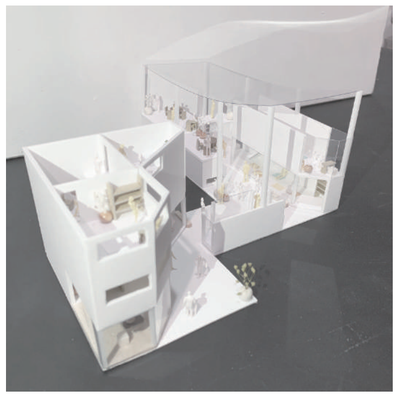


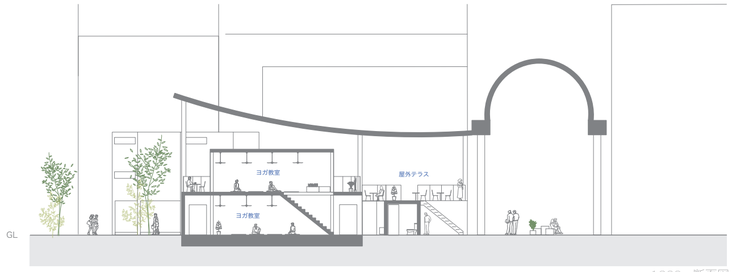
7

1:300　1階平面図

2階平面図

3階平面図

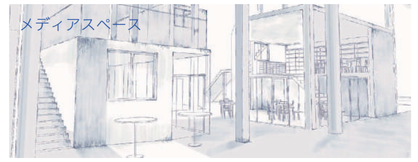


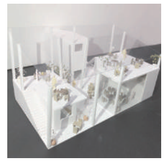


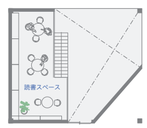
1:300　断面図

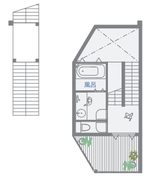
8

1:300　1階平面図

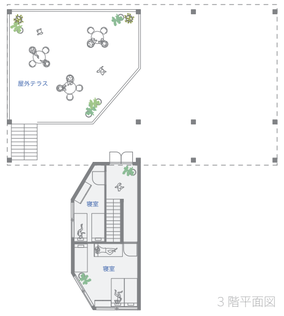




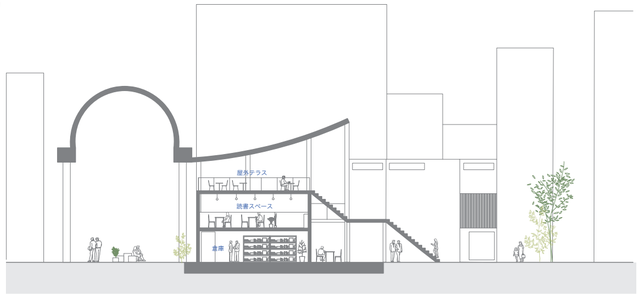




2階平面図



3階平面図



1:300　断面図